

病院実習

すでに平成四年度春期病院実習の受付が始まっているが、土曜日実習運営委員会委員長のについて伺った。

一、病院実習は必修単位とされるとする学生の不満について

二、先着順に対する学生の不満について

三、現在の状況について

第一に単位必修化について実習単位が一つ増えることに実習單位が改編などとなり大変であるところはまだはつきりしてないが当分の間は必修ではない模様である。

第二に今回の受付が先着順であつたために朝から学生が列を作つてまで受けを待つたという事態について上屋教授は予測以上の事態があつたことを認めた。もともと受付方は先着順のほかに抽選というのを考えられていて、その抽選では一つの病院に応募したが、それが落選したとき、生徒たちはまた別の病院を申し込むことになり、それでは混雑が拡大するだけだと判断して最終的に今回の方式を探つたが、いかでこの結果となつたことは充分反省し、今後もつと適したことであつた。

現在日本で輸血に用いられる血液の大部分は国内の献血によつて確保されてゐるが、献血による大量の原料や製品になるもの。九割は輸入のものである。そこで、この血しよう分画製剤と呼ばれるものの中、アルブミンの出産時、シヨック状態に陥つた時に用いられるたる重症のが人一人に対しても、これを十・二十人分用いる事もある。死傷者の多さを考へると、すべてを国内自給でまかねる事はかなり難しいと思われる。

そこで、この血しよう分画製剤の自給率を高める目的で制度化されたのが成分

方法を模索していきたいと考えた。

第三に現在の現状についてある。現在対象となつてある関東地区的病院、薬局など十四人である。これに対し病院実習希望者人数は百八十九人と応募者数は内薄しているため人気のある施設では多くなり、カリキュラムの改編などかなり大変であるところはまだはつきりしていないが当分の間は必修ではない。

次に今回の受付が先着順であつたために朝から学生が列を作つてまで受けを待つたという事態について上屋教授は予測以上の事態があつたことを認めた。もともと受付方は先着順のほかに抽選といふ抽選では一つの病院に応募したが、それが落選したとき、生徒たちはまた別の病院を申し込むことになり、それでは混雑が拡大するだけだと判断して最終的に今回の方式を探つたが、いかでこの結果となつたことは充分反省し、今後もつと適したことであつた。

十一月十三日の学術部門を皮切りで、二十日に同部門を皮切りで、二十七日に体育部門が執事行交代を行つた。なお文化部は新部門は十二月十一日に交代の予定である。どの部門についても、新しく担当する新しい運営が期待される。これらの各部門を担当する新部門、現在の部門で抱負を語つて頂いた。

体育部門長 中尾康彦
現文化部門 小畠秀行
文化部門長 同好会会长 香川大輔
学術部門長 畠山篤史
文化部門長 同好会会长 香川大輔
体育部門長 中尾康彦
文化部門長 小畠秀行

学校側は頭を痛めている。最後には土屋教授は病院実習を行つた。この問題に対する調査結果は一般的な患者から見れば先生であるのだからあまり妙な格好はせず、患者から信頼されるようないいと思う。

う考えであつた。現在の現状についてある。現在対象となつてある関東地区的病院、薬局など十四人である。これに対し病院実習希望者人数は百八十九人と応募者数は内薄しているため人気のある施設では多くなり、カリキュラムの改編などかなり大変であるところはまだはつきりしていないが当分の間は必修ではない。

次に今回の受付が先着順であつたために朝から学生が列を作つてまで受けを待つたという事態について上屋教授は予測以上の事態があつたことを認めた。もともと受付方は先着順のほかに抽選といふ抽選では一つの病院に応募したが、それが落選したとき、生徒たちはまた別の病院を申し込むことになり、それでは混雑が拡大するだけだと判断して最終的に今回の方式を探つたが、いかでこの結果となつたことは充分反省し、今後もつと適したことであつた。

十一月十三日の学術部門を皮切りで、二十日に同部門を皮切りで、二十七日に体育部門が執事行交代を行つた。なお文化部は新部門は十二月十一日に交代の予定である。どの部門についても、新しく担当する新しい運営が期待される。これらの各部門を担当する新部門、現在の部門で抱負を語つて頂いた。

提案 成分献血の勧め

奥 津 あ や

回の献血者数は百九十九人で、そのうち成分献血を行つた人は二十三人だつた。今まで実施された本学内でも実施された。今年が先月二十日と二十一日に実施された。

現在日本で輸血に用いられる血液の大部分は国内の献血によつて確保されてゐるが、献血による大量の原料や製品になるもの。九割は輸入のものである。そこで、この血しよう分画製剤と呼ばれるものの中、アルブミンの出産時、シヨック状態に陥つた時に用いられるたる重症のが人一人に対しても、これを十・二十人分用いる事もある。死傷者の多さを考へると、すべてを国内自給でまかねる事はかなり難しいと思われる。

そこで、この血しよう分画製剤の自給率を高める目的で制度化されたのが成分

最後には土屋教授は病院実習を行つた。この問題に対する調査結果は一般的な患者から見れば先生であるのだからあまり妙な格好はせず、患者から信頼されるようないいと思う。

う考えであつた。現在の現状についてある。現在対象となつてある関東地区的病院、薬局など十四人である。これに対し病院実習希望者人数は百八十九人と応募者数は内薄しているため人気のある施設では多くなり、カリキュラムの改編などかなり大変であるところはまだはつきりしていないが当分の間は必修ではない模様である。

次に今回の受付が先着順であつたために朝から学生が列を作つてまで受けを待つたという事態について上屋教授は予測以上の事態があつたことを認めた。もともと受付方は先着順のほかに抽選といふ抽選では一つの病院に応募したが、それが落選したとき、生徒たちはまた別の病院を申し込むことになり、それでは混雑が拡大するだけだと判断して最終的に今回の方式を探つたが、いかでこの結果となつたことは充分反省し、今後もつと適したことであつた。

十一月十三日の学術部門を皮切りで、二十日に同部門を皮切りで、二十七日に体育部門が執事行交代を行つた。なお文化部は新部門は十二月十一日に交代の予定である。どの部門についても、新しく担当する新しい運営が期待される。これらの各部門を担当する新部門、現在の部門で抱負を語つて頂いた。

文化部門長 小畠秀行
文化部門長 同好会会长 香川大輔
文化部門長 中尾康彦
文化部門長 小畠秀行

塩月篤史(製剤)

香川大輔(旅研)

中尾康彦(サッカー)

小畠秀行(演劇)

なお文化部門長は12月11日

交代予定です。

十一月十五日に、平成四年度新歡祭実行委員会が発足しました。現在は企画会が定期的に活動は、新入生に配布することを行う。学生に対するこの企画会を行つて活動することをおこなう。

二月からは新歡祭の運営会として、新歡祭実行委員会として、主催者は入るのがこのキヤンペー

プだらう。これは来春四月一日から三月までの日程で、八王子市の大谷セミナーハウスに於いて行われる。

新歡祭実行委員会として、主催者は入るがこのキヤンペー

プだらう。これは来春四月一日から三月までの日程で、八王子市の大谷セミナーハウスに於いて行われる。

新歡祭の運営会として、

主催者は入るがこのキヤンペー

プだらう。これは来春四月一日から三月までの日程で、八王子市の大谷セミナーハウスに於いて行われる。

新歡祭の運営会として、

主催者は入るがこのキヤンペー

プだらう。これは来春四月一日から三月までの日程で、八王子市の大谷セミナーハウスに於いて行われる。

新歡祭の運営会として、

新聞会員

大募集!

新歡祭に向けて

十一月行事予定